



豊潤橋の特徴

- 最大送水能力
1秒間に約5 m³の水を流すことができる
(ドラム缶25本分)
- 水路の管径
直径2 m
- 水路の材質
サビを防ぐためステンレス製の鋼管
- 水路のこうばい
900mの距離で1m下がる程度

豊潤橋とは

「豊かで潤いのある明日をめざして」という意味で命名されたこの橋は、昭和62年から平成元年にかけて、農林水産省と熊本県の共同工事によって建設されました。

この橋は車両交通を支えるだけでなく、橋の下には大きなパイプラインが設けられ、農業用水を供給する役割も担っています。

菊池台地用水土地改良区は、この施設を通じて竜門ダムから水を取り入れ、熊本市・山鹿市・合志市・大津町の4市1町、約4,682ha（内4,048ha）にわたる農業用水の配水操作を行っています。

豊潤橋放水とは

この放水は、竜門ダムを水源とする東部幹線水路を点検するために行われます。放水は橋の中央にある井から行われ、パイプラインに溜まった土砂を排出します。水量は1分間に6tとなります。

放水期は稲刈り後に実施され、水への感謝の気持ちも込められています。高さ38mから流れる水の壮大なアーチは、訪れた人々に感動を与えています。

